

1. 活動期間

2025年1月21日（火）10時30分～16時

2. 活動場所

大谷町第1団地（大谷小中学校グラウンド：石川県珠洲市大谷町1-78）

3. 石川県珠洲市の被害状況（令和7年1月21日14:00時点 石川県庁情報184報）

人的被害 死者：151人 うち災害関連死：54人 負傷者：重傷 47人、軽症 202人

住家被害 建物全壊・半壊・一部損壊：5,579棟 非住家被害：6,220棟

市町一次避難所：開設0か所

4. 支援活動の実際

大谷町第1団地（大谷小中学校グラウンド）集会所および仮設団地巡回

大谷町第1団地（大谷小中学校グラウンド）仮設団地集会所でのお茶会会場と同仮設団地に、お茶菓子を提供しながら被災された方々の健康観察等を目的に巡回を行った。

お茶会会場では、お茶会の前に珠洲市総合病院の理学療法士2名が主導で体操を行っていた。参加者は23名であり、男性1名と地域の方もおられ、笑顔で体操を行っていた。

仮設団地のA～Dの4棟の在宅者に、お茶菓子を配りながら、体調の確認や困り事等の有無を伺った。約30戸在宅されており、「午睡をしてお茶会に行きそびれた」という方や、ようやく足を引きずりながら玄関まで出てこられた方がおられた。「室内では工夫をして過ごせるが屋外には一人では出られない」と言われていた。また、同時間帯に移動販売車が来ていて、4～5名の方が買い物をされていた。

5. 支援活動を通しての所感と課題

避難所でのお茶会の参加者は15人前後であったが、仮設集会所でのお茶会は23名と人数が増えており、明るい笑い声が響いていた。生活環境に変化はあったが、徐々に生活に馴染んできたために交流の場に参加できる余裕ができてきたのではないかと推測される。しかし、仮設団地内には、自力では参加できない方がおられ、お茶会の送迎などの支援を検討する等の、孤立を防ぐ課題に直面していると感じられた。

6. 様子（写真掲載の許可あり）



大谷小中学校仮設団地集会所でのお茶会の参加者